

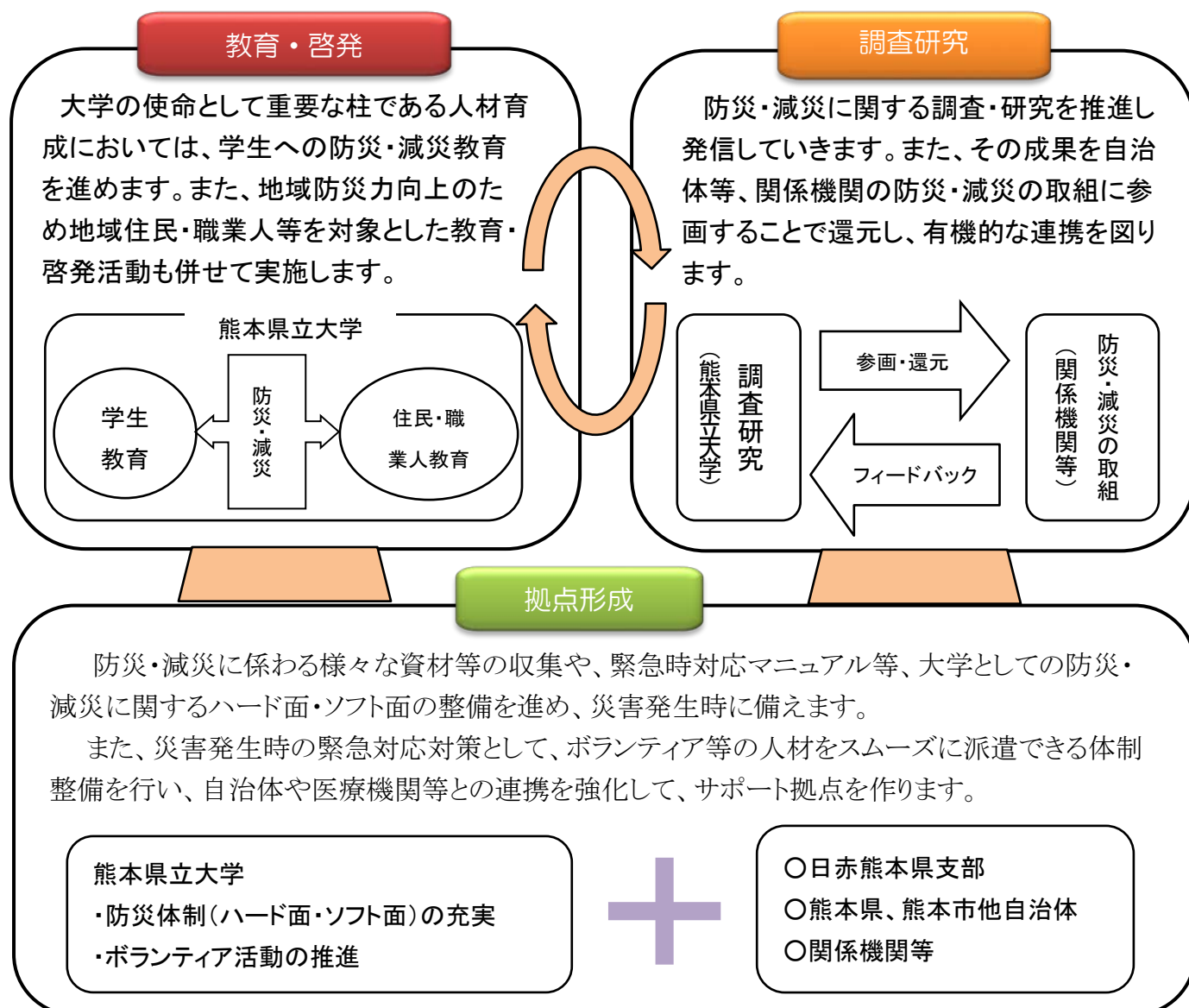
熊本県立大学 防災・減災ビジョン

基本的な考え方

熊本県立大学は、防災・減災の取組を地（知）の拠点の実現に向けた事業の一つとして位置づけ、その指針となる本ビジョンを策定し、3つのアクションを展開します。

- 学生のみならず、広く地域住民・職業人等を対象として、防災・減災への志と知識・技能を持つ防災・減災リーダーを育成します。
- 防災・減災に係る調査研究を進め、他の関係機関の取組に参画します。
- 地域の中の防災・減災の拠点となるべく、体制の整備に努めます。

3つのアクション



具体的なプログラム

防災・減災の推進のための3つのアクションについて、自治体や企業・団体等と協働し、具体的なプログラムを実行していきます。

教育 啓発

- ・ 学生の防災・減災意識を高める教育の実施（共通教育、専門教育、実験・実習において）
- ・ 学生に対する課外での救急救命講習等、災害ボランティアに関する情報提供
- ・ 広く地域住民・職業人等に向けたシンポジウム、防災・減災の主体となることが想定される社会人向け教育（CPD プログラム等）の実施

調査 研究

- ・ 総合集約型大学としての熊本県立大学のシーズを生かした防災・減災に関する多角的な調査研究の推進
- ・ 調査研究の成果還元として、国や自治体等、関係機関の防災・減災の取組への参画、及びそれらとの連携による成果の教育・調査研究へのフィードバック

拠点 形成

- ・ 熊本県立大学の防災・減災体制（ソフト・ハード）の充実
- ・ 日赤熊本県支部、熊本県、熊本市等をはじめとした地域との連携体制の充実
- ・ 学生ボランティアとの連携※による地域防災への対応
※学内のボランティアステーションへの支援、情報提供等を通して学生ボランティアの活動等を推進する。